

## 盛岡市ホームページシステム（CMS）賃貸借プロポーザル企画提案書作成要項

### 1 提出書類の様式

- (1) 提出書類の様式は、A 4 判縦（横書き）の文書形式とし、文字フォントサイズは10ポイント以上とすること
- (2) 記載が2 ページ以上の場合は、必ず両面印刷とすること
- (3) 提案書の本文は、50ページ以内にすること（表紙、目次等は除く）
- (4) スケジュール等A 3 判を使用する場合には片面印刷とし、A 4 判に折り込み、2 ページとして計算すること
- (5) 本文の各ページには、ページ番号を記載すること
- (6) 提案書は正本1 部 副本8 部とすること
- (7) 正本の内容を電子データで出力したCD-R又は DVD-R 1 枚を提出すること

### 2 提案書記載事項

提案書は、下記の項目の順序に従って記載すること。提案内容は、盛岡市ホームページシステム（CMS）賃貸借仕様書（以下「仕様書」という。）の内容を踏まえ作成すること。提案内容は、全て実現できるものとし、具体的に記載すること。

なお、代替案又はより良い提案がある場合は、仕様書との差異を明記すること。

#### (1) 基本情報

ア 会社情報

イ CMS 導入を伴う自治体ホームページ構築実績

※人口10万人以上の市または特別区の公式ホームページにおいて、CMS構築（令和8年2月1日時点で稼働中のもの）について記載すること。

※提案事業者によるCMS導入実績のみ記載すること。

ウ 構築体制

本業務の実施にあたってのシステム構築及び保守体制図を提示すること。

#### (2) 本業務における取り組みの方針及び方法

ホームページ構築の作業を進めるにあたり、「どのような方針・方法で行うか」について明示すること。

#### (3) スケジュール案

以下の内容を前提に、スケジュール案を提示すること。

ア 構築業務工程における進捗の目標を明記するとともに、工程の名称と期間、目的、管理項目及び定例報告の予定も明記すること

イ 業務の再委託を行う場合には再委託先も明記すること

ウ 工程ごとに企画提案者及び本市の作業項目を明示し、その上で役割分担を提示すること

(4) データ移行・JIS X 8341-3診断

ア データ移行を確実に行うための方針、手段

イ JIS X 8341-3診断方法

(5) 操作研修について

システム本稼働前の動画配信による職員研修、システム本稼働後の職員研修について、スムーズな習熟及び職員の知識や技術の向上に寄与するための特長を提示すること。

(6) ソフトウェア保守・ホームページ保守・電話対応

ア 5年間安定稼働させるための保守・運用体制・保守内容

イ システム構築後も効果的な情報発信や機能向上・改善を行う方法

ウ 保守内容の実績

他自治体の事例から、本市における5年間の運用に効果的な要素があれば記載すること。

なお、記載した事項は提案提示額内で実施すること。

(7) 現行ホームページの分析及び提案するサイト設計

ア 提案するサイト構造の概要・理由・特徴

イ サイト設計における分析結果の反映

(8) 現行ホームページのデザイン、サイト階層、掲載ページ等の改善点へのアプローチ

ア 改善点等の抽出及びそれらの分析・整理方法

イ 改善を考慮した設計への反映への工夫

(9) 提案するホームページデザイン

「市民が、必要な時に必要な情報を探しやすいホームページ」を実現するための基本コンセプトやデザインの具体例を提示すること。

ア トップページデザインのデザイン

イ 個別ページのデザイン

ウ 魅力発信等、通常ページと差別化されたページのデザイン

エ 市が発行する広報紙に掲載した記事の内容に紐づく個別ページへのアクセスに関するデザイン

オ サイト構成の自由度、サイト構築後の修正の柔軟性

(10) ユーザビリティを確保・向上するための実現方法

ア サイト構造の見直し

イ 閲覧者の利便性を向上させるための工夫個別ページのデザイン

ウ サイトを通じた閲覧者の意見等の収集、確認機能

(11) マルチデバイス（スマートフォン等のモバイル端末）への対応方法

ア スマートフォン等のモバイル端末での利用に関する概要・特徴

イ マルチデバイス対応に係る職員の作業負担

(12) アクセシビリティを確保・向上するための実現方法

ア アクセシビリティの重要性・考え方

イ 本業務における確保手段

ウ 他自治体での対応実績

(13) 災害など緊急・重大情報の提供方法

ア 概要・特徴

イ 災害状況にあわせた情報発信方法、職員の作業

(14) CMS 機能

ア 概要・特徴

イ ページ作成の詳細機能

ウ 管理機能の詳細機能

エ 公開予約から公開までの工程

次の項目について具体的に記載すること。

(ア) 1 日における全体の公開処理の回数

(イ) 公開処理後、実際に公開までに要する時間

(ウ) 全体の処理以外に任意のタイミングで公開・非公開等の処理ができるか

(エ) 作成者・承認者・管理者がそれぞれ行うことのできる操作

(15) システム構成データセンター・サーバの機能

ア セキュリティ対策について記載すること

イ 安定稼動を前提としたシステム概要について記載すること

ウ データセンター環境について記載すること

(16) ホームページ構築の成果をさらに高める提案

ホームページ構築を成功させるという視点で、仕様書以外で必要と思われる項目があれば、「追加提案」として記載すること。追加提案は本事業内で実施する内容のみ記載すること。追加提案に限って複数の提案も可とする。